



JAGCS

株主通信

第91期報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

株式会社ジャックス

証券コード: 8584

ごあいさつ

新たな成長へ向けた生産性の向上と成長基盤の強化に取り組みました

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度の新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収束と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ここに、株式会社ジャックス第91期(2021年4月1日～2022年3月31日)報告書をお届けいたします。皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長(代表取締役)
COO
村上 亮

取締役会長(代表取締役)
CEO
山崎 徹

第91期の経営成績

この1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により事業を取り巻く環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような中、当社グループは、前中期経営計画で顕在化した課題解決に注力するとともに、海外事業の業績回復に努めてきました。

下半期では、半導体や資材不足等の影響を受けたものの、国内では各種施策が功を奏し、クレジット事業やファイナンス事業が堅調に推移しました。一方、海外では事業基盤の再構築を重点的に取り組んできたことにより、業績は回復基調となりました。その結果、連結取扱高が増加し、連結営業収益は9期連続で増収を果たすことができました。

費用面では、金融費用と債権良質化による貸倒関連費用

等が減少しました。

これらの結果、連結経常利益は267億円(前年同期比62.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は183億円(同55.5%増)となり、過去最高益を更新することができました。

期末配当金は、当期の業績と配当政策に関する基本方針を総合的に勘案した結果、1株当たり85円と前期末より25円増配いたしました。

第92期の見通し

当社グループは、2022年度を初年度とする第14次中期3カ年経営計画「MOVE 70」(以下:新中期経営計画)を始動しました。

新型コロナウイルス感染症の収束はいまだ不透明であり、デジタル化の加速やサステナビリティに対する要求の高まりなど、外部環境も大きく変化しています。さらに、エネルギーや原材料価格の高騰、地政学リスクの高まりなど不確実性が増しています。

第92期も厳しさが増す中でのスタートとなりましたが、新中期経営計画で掲げたあるべき姿(P3参照)に向かって全社一丸となって邁進いたします。

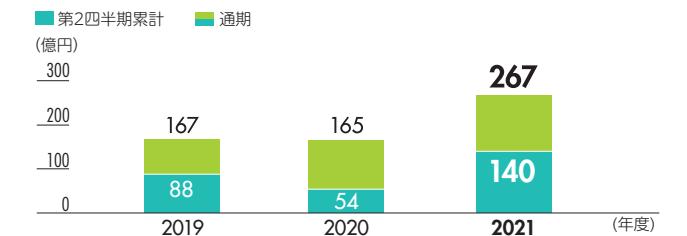
今期の連結経常利益は290億円、親会社株主に帰属する当期純利益は195億円を目指して取り組んでいきます。

年間配当につきましては、1株あたり170円とし、連結配当性向30%を目安に安定的な利益還元に向けていきます。

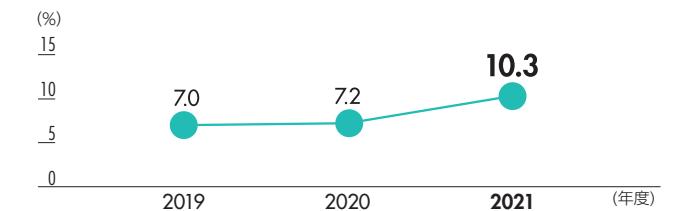
連結営業収益



連結経常利益



自己資本当期純利益率(ROE)



配当金



特集

新中期経営計画 MOVE 70

国内・海外事業のさらなる強化と拡充
—サステナビリティへの取り組み推進—

当社グループは、2022年度を初年度とする新中期経営計画「MOVE 70」をスタートしました。新中期経営計画では、「3年後のあるべき姿」を掲げ、長期ビジョンの実現やその先の経営理念につながる取り組みを鋭意進めていきます。計画名称の「MOVE 70」は、コロナ後を見据えて動きだし、従業員一人ひとりが主体的に動いていく力を結集させ、最終年度の2024年に創業70周年の節目を迎えます。

RAISE 2020 単年度戦略の振り返り

- 成果**
 - グループ経営の礎となる収益基盤の強化
 - 海外事業の利益成長へ向けた事業構造改革が進展
 - IT、AIを活用した利便性向上と業務効率化を実現
- 課題**
 - 気候変動への対応、コーポレートガバナンス強化
 - 国内・海外事業のさらなる収益性向上
 - リスク管理体制の構築

MOVE 70

あるべき姿1

 強みを活かした
国内事業の収益基盤拡充

あるべき姿2

 将来の成長をけん引する
海外事業の収益基盤の確立

あるべき姿3

 国内・海外の成長を加速する 経営基盤の強化

あるべき姿4

 ESG経営の推進

Vision

アジアの
コンシューマーファイナンス
カンパニーとして
トップブランドを確立する

Mission

「夢のある未来」
「豊かな社会」
の実現に貢献する

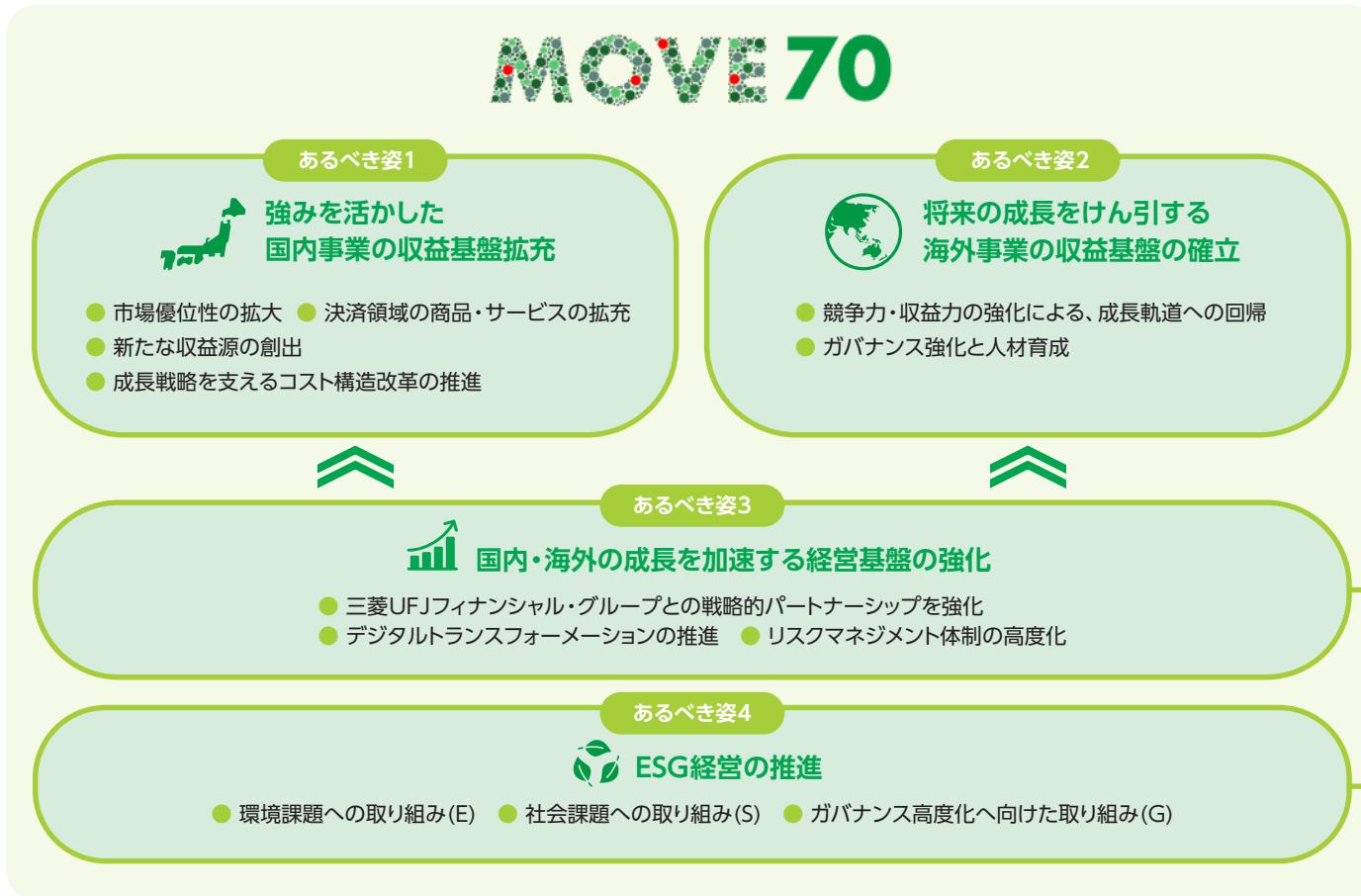
連結業績目標

国内事業は営業力と商品力のさらなる強化を図り、新たな収益源の創出に向けた取り組みを加速させ、海外事業は安定した事業・経営基盤の確立と利益拡大を目指します。そして、期ごとに過去最高益を更新し続けられるよう取り組んでいきます。また、新中期経営計画期間における連結配当性向は、30%を目安として安定的な利益還元を努めていきます。

| | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------------------|--------|--------|--------|
| 営業収益 (億円) | 1,670 | 1,755 | 1,845 |
| 経常利益 (億円) | 290 | 325 | 365 |
| 親会社に帰属する 当期純利益 (億円) | 195 | 220 | 245 |
| ROE (%) | 10.6 | 10.9 | 11.3 |

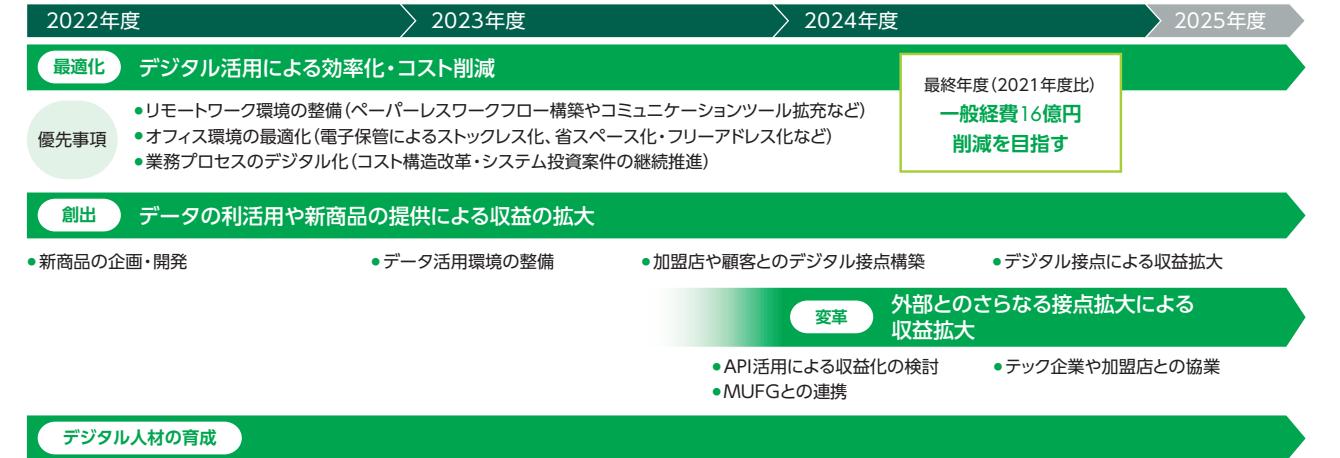
新中期経営計画の全体像「3年後のあるべき姿」と戦略

新中期経営計画では、環境変化や想定される機会・リスクを的確に捉えつつ、当社グループの持続的向上を目指すべく、4つの「3年後のあるべき姿」を掲げました。これらの実現に向けて、戦略の実行と各種施策への取り組みにグループ一丸で注力していくとともに、株主・お客様・お取引先・従業員をはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応えていきます。



経営基盤の強化に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み

これまでもコスト構造改革や各事業・各部門における業務効率化を継続的に取り組んできましたが、今後は全社横断的なDXを通じてこの流れを加速させ、デジタル技術の活用による業務環境やプロセスの整備を図り、より一層の生産性向上とコスト削減を実現させていきます。また、当社が保有する各種データの利活用や新たなビジネスの創出に向けた取り組みを着実に推進していきます。



ESG経営の推進に向け、マテリアリティを特定

新たに定めたサステナビリティ基本方針とこれまで実践してきたCSRを根底に、ESG経営をさらに深化させます。グループの持続的成長と事業活動を通じた環境や社会課題の解決を図るため、特定したマテリアリティに沿った取り組みを推進していきます。

| | | |
|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 安心・安全で利便性の高いサービス提供 | ● お客様、お取引先からの信頼に応えるサービス | ● 情報セキュリティの高度化 |
| | ● 地域社会・生活を支えるインフラとしてのファイナンスサービスの提供 | ● キャッシュレス化の推進 |
| 環境の保全 | ● 環境負荷低減への対応 | ● 気候変動の緩和に貢献、自然災害に対するレジリエンスの向上 |
| 脱炭素社会実現への貢献 | ● ファイナンスサービスを通じた脱炭素化の推進 | |
| 多様性と人権の尊重 | ● ダイバーシティ & インクルージョンの推進 | ● 人権の尊重 ● 社会貢献活動の実践 |
| ガバナンスの高度化 | ● コーポレートガバナンスの強化 | ● リスクマネジメントの強化 ● コンプライアンスの徹底 |

TOPICS

ジャックスカード券面 デザインリニューアル

2022年4月の新中期経営計画スタートに合わせ、7月以降に発券するジャックスカードの券面デザインを一新します。デザイン変更は2014年の前回リニューアルから約8年振りとなります。今後控えるデジタルカード対応も見据え、時代に沿った先進性のあるデザインとなっています。

JACCSロゴに使用されている曲線を組み合わせ、幾何学模様を作成し、ロゴを尊重しつつも際限なく広がるイメージを持たせることで、当社が社会に広がっていくというメッセージを込めています。



学書と業務提携を開始

当社は、学書と業務提携を結び、学書が提供する学習塾サポートシステム「Kazasu(カザス)」に当社の口座振替機能を連携することで、学習塾の請求業務をサポートするサービスを開始しました。今回の業務提携を契機として、集金業務の効率化など付加価値の高いサービスを提供し、集金代行業務の拡大を目指していきます。



mirajitsu cardlessの 募集開始

子育て世帯やステップアップを目指す社会人の必要資金全般をサポートすることを目的に、低金利で提供するカードローンの募集を2022年2月より開始しました。お申込みから借入れまでの手続きがWebサイトで完結するなど利便性を追求し、「ペーパーレス」かつ「カードレス」というデジタル時代に即したサービスを提供しています。



グリーンボンド発行

当社は、資金調達の多様化とさらなる環境商品の推進・サポートを行うため、国内市場において2度目となる環境分野への取り組みに特化した債券「グリーンボンド」を2021年12月に発行しました。今回のグリーンボンドで調達した資金は、おもに太陽光発電設備や蓄電池設備向けのローン等に活用していきます。



ハーレーダビッドソンと バイクリースの取扱いを開始

当社および子会社のジャックスリースは、ハーレーダビッドソンジャパンと新たなバイクリースの取扱いを2021年10月より開始しました。お客様がより身近にハーレーライフを楽しんでいただけるよう、当社が長年培ってきたリテールファイナンスのノウハウを融合させ、サービスの向上と市場の開拓を図っていきます。



働きやすい職場環境づくりに 向けた取り組み

当社は、従業員がより活力に溢れ、いきいきと働ける職場環境づくりを経営的視点で捉え戦略的に取り組んでいます。また、働き方改革の継続により従業員の生産性を高め、新しい価値を創造し、当社グループの成長へとつなげていくことを目指しています。

主な外部評価(2021年度)

2021年9月

次世代育成支援対策推進法に基づく優良な子育てサポート企業として、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を取得



2021年12月

女性活躍推進法に基づく行動計画の実施状況が優良な企業として「えるぼし」認定を取得



2022年3月

優良な健康経営を実践している法人として経済産業省より5年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定



2022年3月

福利厚生表彰・認証制度実行委員会が運営する「ハタラクエール」を3年連続で受賞し、その中でも特に優れた取り組みを行う法人「優良福利厚生法人(総合)」に選定



地域社会との共生

コロナ禍における当社の取り組み

企画していたイベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる中で模索しながら地域社会との共生を目指し、社会貢献に取り組んできました。

地域の障がい者施設による社内販売会

本部(恵比寿)をはじめとする複数の拠点で、知的障がいのある方々が製造したパンや焼き菓子の社内販売会を毎月開催しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、障がい者施設による出張販売の機会が減る中、当社は感染症対策を徹底しながら継続して開催し、売上への貢献と障がいのある方の社会参加を支援しています。対面による直接販売を通じて当社の役職員との交流が生まれることで、社会とのつながりや仕事への達成感を感じていただくことを目指しています。おいしいパンやお菓子の購入で障がいのある方々を応援できるこの取り組みは、役職員にも好評です。



社員カードのポイントを活用した寄付

社員カードの利用額に応じて付与されたポイントの一部を金銭に換算し、会社が同額を上乗せして寄付活動を行っています。小児がん患児の支援を行う「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」への寄付のほか、社会課題解決のための活動を行う団体を寄付候補先とし、役職員による投票を実施して寄付先と寄付金額を決定しています。2021年度は、1,723名の役職員が投票に参加し、虐待や孤立に悩む子どもたちの支援活動を行う団体や海外の貧困地域で医療活動を行う団体、海や森の環境保全団体など、多様な課題解決に取り組む13団体へ総額513万円を寄付しました。

ベルマークの収集と学校への寄贈

当社グループでは、全役職員が気軽に取り組める社会貢献活動としてベルマークを収集し、学校へ寄贈しています。ベルマークは学用品の購入に活用され、子どもたちの教育環境拡充に役立てられます。これまでは創業地である函館や被災地の小・中学校、特別支援学校を中心に寄贈してきましたが、2021年度からは、全国の営業拠点と協力して各地域の学校へ広く寄贈を行うなど活動を拡大しました。第一回目は仙台支店と連携し、宮城県東松島市の小学校へ約10万点(1点=1円換算)を寄贈しました。



間伐材を使用したおもちゃの制作と寄贈

2022年1月と2月に社員有志とその家族23名が参加し、間伐材*を使ったおもちゃを制作するボランティア活動を実施しました。「NPO法人 森のライフスタイル研究所」のご協力のもと、森のはたらきや森林保全の大切さを学びながら、知育パズルとカリンバ(アフリカの民族楽器)を完成させました。作り上げたおもちゃは、渋谷区内のこども園と児童発達支援施設へ寄贈し、参加した社員からは、「子どもたちに遊んでもらうのが楽しみ」「木の香りを感じて仕事のリフレッシュになった」といった声が聞かれました。

*樹木が過密になった森林から伐採された木材。間伐することで地表に日光が当たり、樹木の成長が促され、森林を健全な状態に保つことができる。

JFC(海外子会社)の社会貢献活動

JACCS FINANCE (CAMBODIA) PLC.では、ジャックスのコーポレートスローガン「未来にタネをまこう。」をテーマに現地社員が社会貢献活動を企画・立案し、実施しています。これまで病院への寄付をはじめ、社内での献血活動、孤児院への物資提供等を行ってきました。2021年12月には現地NGOと協力し、カンボジアの貧しい子どもたちへ教育物資を寄贈しました。社員一人となり文房具や水筒を一人分ずつバッグに詰め、150名分の物資を学校に届けました。子どもたちにも喜ばれ、参加した社員一人ひとりが社会貢献を実感する活動になりました。



連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

| | 2020年度 | 2021年度 |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 取扱高 (百万円) | 4,973,421 | 5,273,264 |
| 営業収益 (百万円) | 160,650 | 164,070 |
| 経常利益 (百万円) | 16,506 | 26,786 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 11,778 | 18,316 |
| 配当金 (円) | 105 | 160 |

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

| | | |
|------------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | △141,114 | △152,023 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | △8,816 | △7,311 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 164,868 | 186,121 |

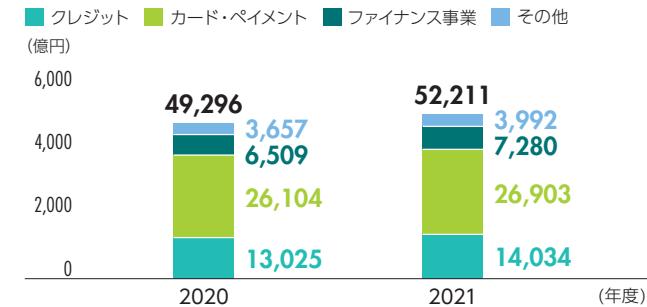
財政状態 (各年度の3月31日時点)

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 総資産 (百万円) | 4,484,954 | 4,828,881 |
| 純資産 (百万円) | 174,152 | 192,217 |

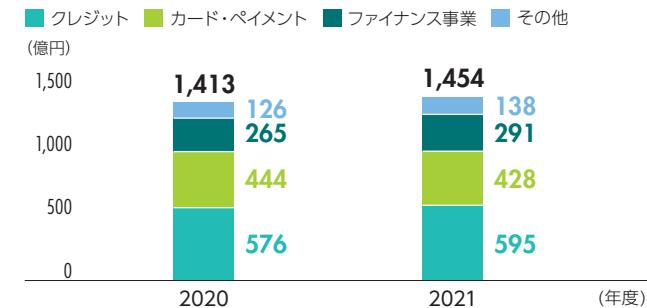
連結セグメント概況

国内事業

取扱高



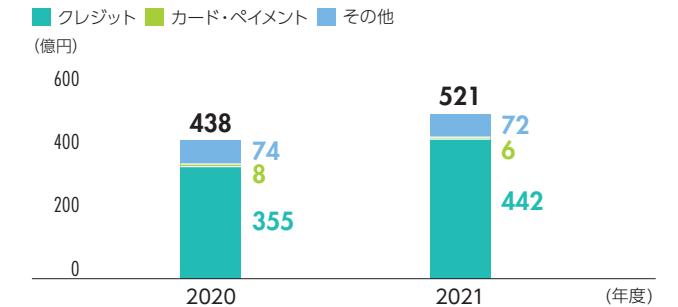
営業収益



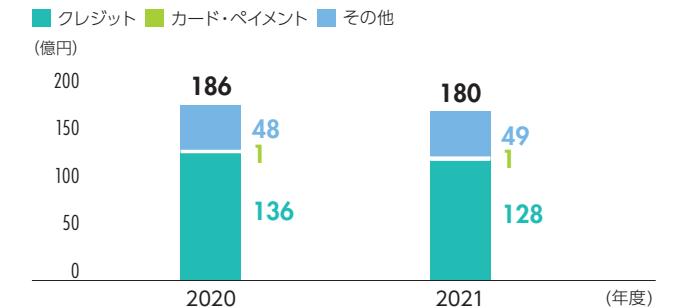
(注) 営業収益は金融収益を除いた事業収益を表示しております。

海外事業

取扱高



営業収益



POINT

- 国内の消費マインドが徐々に改善したことから高級腕時計・貴金属等の取扱いが伸長し、ショッピングクレジットの取扱高が拡大
- オートローンは、世界的な半導体不足により国産・輸入車の取扱高が想定以上に影響を受けたものの、大手中古車販売店を中心に各種施策を展開し、取扱高が拡大
- 住宅ローン保証は、提携先との安定した取引により年間を通して好調さを維持
- 海外は、各国の新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和により徐々に回復傾向で推移。ベトナム、インドネシア、フィリピンでは各種施策が奏功し、取扱高が増加。一方、営業収益は営業債権残高の低下を主因に減少

セグメント情報の
詳細はこちらから

プロモーション活動

イメージキャラクターに小松菜奈さんが就任！

2022年4月より、ジャックスの新イメージキャラクターに女優の小松菜奈さんが就任しました。イメージキャラクターの交代は9年ぶり。華やかで強い存在感、魅力的な表情、確かな演技力で若年層を中心に幅広い層から支持されている小松さんを新たに起用し、ジャックスの認知拡大とブランドメッセージの浸透を図っていきます。小松さん出演のCM・グラフィック広告にぜひご期待ください。



Profile 小松菜奈さん
1996年2月16日生まれ、東京都出身。女優、モデル。映画『渇き。』(2014年)で日本アカデミー賞新人俳優賞など数々の新人賞を受賞。近年の出演作に『閉鎖病棟—それぞれの朝—』『糸』『さくら』『ムーンライト・シャドウ』『恋する寄生虫』などがある。2022年春公開のW主演映画『余命10年』は大ヒットを記録。

新CM「物以上の、物語を。」シリーズが公開中

小松菜奈さん出演の新CM「物以上の、物語を。」シリーズは、全国で放映中です。“ためになる消費”をテーマに、小松さんが買い物を通じて彩り豊かな日々を送る姿を描いた本作品。4つの題材は小松さんが実際に興味のある物で、とっておきの物と幸福な時間を過ごす、小松さんの自然な表情が印象的です。ジャックスは“ためになる消費”の傍らに、皆様の豊かな未来に貢献したい。そんな想いが込められています。



CMサイトはこちら



会社概要/株主の状況

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号 株式会社ジャックス
設立年月日 1954年6月29日
資本金 161億3,818万円
本店所在地 北海道函館市若松町2番5号
本部所在地 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数 2,747名

連結子会社 (2022年3月31日現在)

- ジャックスリース(株)**
事業内容：リース
- ジャックス・トータル・サービス(株)**
事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店
- ジャックス債権回収サービス(株)**
事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法(サービサー法)」に基づくサービサー
- ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)**
事業内容：集金代行・後払い決済
- JACCS International Vietnam Finance Co., Ltd. (略称 JIVF)**
事業内容：クレジット、クレジットカード
- PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA (略称 JMFI)**
事業内容：クレジット
- JACCS FINANCE (CAMBODIA) PLC. (略称 JFC)**
事業内容：クレジット
- JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION (略称 JFP)**
事業内容：クレジット

株式分布状況 (2022年3月31日現在)



(注)個人・その他には自己株式431千株(1.23%)が含まれております。

取締役・監査役 (2022年6月29日現在)

| | |
|--------------------------|-------------------|
| 取締役会長(代表取締役) CEO 山崎 徹 | 取締役(社外) 鈴木 政士 |
| 取締役社長(代表取締役) COO 村上 亮 | 取締役(社外) 西山 潤子 |
| 取締役専務執行役員 千野 仁 | 取締役(社外) 岡田 恭子 |
| 取締役専務執行役員CFO 齊藤 隆司 | 取締役(社外) 三瓶 博二 |
| 取締役常務執行役員 大島 健一 | 常勤監査役 下河 照和 |
| 取締役常務執行役員 外口 利夫 | 常勤監査役 奥本 泰之 |
| 取締役上席執行役員 太田 修 | 監査役(社外) 村上 眞治 |
| 取締役上席執行役員 小林 一郎 | 監査役(社外) 小町谷 悠介 |

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 78,910,000株
発行済株式総数 35,079,161株
単元株式数 100株
株主数 27,083名

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 7,015 | 20.24 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,162 | 9.12 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 2,214 | 6.39 |
| ジャックス共栄会 | 1,642 | 4.73 |
| 第一生命保険株式会社 | 1,359 | 3.92 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,275 | 3.68 |
| ジャックス職員持株会 | 1,005 | 2.90 |
| RE FUND 107 - CLIENT AC | 600 | 1.73 |
| 日本生命保険相互会社 | 588 | 1.69 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 564 | 1.62 |

(注) 1.持株比率は、自己株式(431千株)を控除して計算しております。
2.持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

●株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。 |

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

Cover Story

2022年7月よりリニューアルする、新しいカードデザインをモチーフに、当社がカード・ペイメント事業を通じて提供するデジタル時代の新しい価値や新しいライフスタイルが、世界中に広がっていくイメージをデザイン化しました。



株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>

**UD
FONT** 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

